



日本銀行
ジャパニテリー、ヘラルド新聞抄譯



イ14
A 3086



新聞抄譯

一千八百七十九年九月十三日「ヂヤパン」デーリー、ヘラルド

曾テ余輩ガ七月三十日ヲ以テ日本政府ハ其銀回ヲ流通セシメ
ントスルノ意アル旨ヲ開陳スルヤ一時ハ之ヲ是非スルノ論頗
ル喧鬧ナリシガ今ヤ余輩ノ豫想虚妄ナラスシテ實際其緒ニ就
クヲ見ルニ至レリ余輩ノ満足何ゾ之ニ過キ且ツ右ノ論說中ニ
於テ第一ニハ本紙ノ公告欄内ニ掲載スル布告ノ必要ナルヲ
述ヘ第二ニハ此處置ニ就キ異論ノ起ルヲナカルベシト云ヒ第三
ニハ銀回ヲシテ實際流通上ニ入レンニハ恐ラクハ外國銀行ノ
翼助ヲ借ラサルヲ得ザルベシト論シタリシニ果シテ異論モ起
ラス又銀行ハ其翼助ヲ借スニ就テハ政府ト相當ノ約束ヲ為セ
リ加之ノミナラス又余輩ハ銀回ノ流通ニ上ル以上ハ幾分カ過

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈



1922

割紙幣ノ引揚ラル
トアルベシト論シタルニ是レ亦案ニ違ハ
ス本月末ノ取引約定ニテ巨額ノ紙幣ヲ買収シ為メニ生糸市場
ノ盛ナラザルト輸入品ニ仕拂フベキ洋銀ノ需要大ナルトニ拘
ハラズ紙幣ノ差大ニ減シタルヲ見テ之ヲ知ルベシ是ニ因テ
之ヲ觀レバ政府今般ノ處置ノ如キハ救フベカラザルニ至ラシ
トスル所ノ危急ヲ未ダ甚ダシカラザルニ濟セ以テ貿易上ニ最
モ賀スベキノ好果ヲ結バシメタリト云ハザルベカラス香港ニ
於テ銀回授受ノトニ就テハ余輩ハ立法議官ガ該件ニ就テノ方
案ヲ可決スルノ日ヲ以テ必然其事アルベシト信シテ疑ハザル
ナリ

九日發兌ノ「ヂヤパン、デーリー、メイ」ル新聞紙ハ余輩ガ速カニ銀
回ヲ以テ当港後詰ノ通貨基本トナスヲ翼賛スルノ説ヲ痛ク
論争シ吟カモ神識ノ未来ヲ告グルガ如ク断然言ヲ放テ曰ク「日
本ノ銀回アルハ則チ在リト虽決シテ流通セザルベシト然ル
ニ今日ハ前刊ノ改正トシテ銀回ノ壹ニ流通貨タルノミナラス
貿易上墨銀ト並價ナル旨ヲ公告セル政府ノ布令ヲ掲載シタリ
而ノ此事タル余輩ノ所説ト符節ヲ合スルガ如シ嗟「メ」ル記者
ノ不明不識何ッ夫レ斯ノ如キヤ且ツ其初刊ノ誤謬ハ尚ホ許ス
ベシト虽氏改正ニ於テモ亦初刊同様迷誤ヲ改メザルヲ如何セ
ン然リト虽氏今夕發兌ノ紙上ニ掲載セル官令ハ公正明瞭一点
ノ疑ヲ容ルベキヤキヲ以テ曾テ「メ」ルノ改正刊行ノ為メニ愈
誤マラレタル者ノ疑氷然トシテ消解スルニ至ランカ

